
当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

2020 年度第 1 回研究会 (通算第 3 回目)

日時 : 2020 年 9 月 7 日 (月) ~ 2020 年 9 月 10 日 (木) 10:30-16:00

場所 : オンライン

使用言語 : 日本語 , 英語

1. 各言語出版用テキスト編集とそれに関するディスカッション

本プロジェクトの最初の成果として各言語でイラスト刺激「Family Problem Picture Task」を用いて収集したテキストをグロスと英訳付きで出版することに決め、その具体的な形式・書式を策定するとともに編集作業を進めた。具体的には AA 研から刊行している雑誌 AALL 第 15 号 (2021 年度刊行) の特集記事として公刊する予定である。

2. キャンベラチームとのミーティング

・双方の進捗状況について報告するとともに Propositional framing (これまで Complementation と呼んでいたトピックを改題したもの) に関する研究について議論を行った。キャンベラチームの Barth 博士によりこれまで各自が行ってきたタグ付を統計的に処理した結果が提供された。それにより、これまで扱ってきた 9 つの Function (UTT

(utterance), PROB (probability judgement), THINK (thinking), PRET (pretense), COM (commentative), KNO (knowledge), FEAR (fear), DES (desiderative), IMM (immediate perception)のうち、各言語のコーパスにおける生起数が多く類型論的一般化が可能であるのは UTT, PROB, THINK であることがわかり、今後はその3つに集中して議論を行うことになった。